

私費留学 体験談



今まで生きてきた世界とは違う世界を感じ、
視野を広げることができると思います。

岩井 美都さん 外国語学部東アジア学科4年

留学先に韓国を選んだ理由

私は東アジア学科の韓国語コースに所属しており、現地で生きた韓国語を学びたいと思い留学しました。韓国の語学堂の中でも数が多く、トップレベルの韓国語教育を受けることができるという点で延世大学の語学堂に行きました。

準備期間

約半年。コロナ禍での留学ということもあり、不安だったので半年前から留学準備を始めました。

留学前の準備

留学先への入学願書提出、熊本学園大学への休学届提出、ビザの取得、航空券の購入、韓国入国後の隔離滞在施設の手配(コロナ禍のため)、携帯電話のSIM契約、宿舎となるアパートの契約、PCR陰性証明書発給等。

宿泊先:アパート

延世大学の国際寮は最長でも9か月しか住めないということだったので、寮ではなくアパートを借りることにしました。冷蔵庫や洗濯機など家具は備え付けのものが多かったです。

現地での生活

韓国はキャッシュレス化が進んだ国なので、学校が始まってすぐに外国人登録手続きを行い、銀行で口座を開き、クレジットカードを作成しました。留学生専用のクレジットカードは、交通費が割引されたり飲食店のクーポンをもらえたりとお得なので早めの手続きをお勧めします。

また韓国は出前文化が盛んで、注文するとすぐ届けてくれるのでよく利用していました。駅やバス停の近くには屋台も多く、安く食べられるので自炊はほとんどしていませんでした。

授業について

授業は午前のコースと午後のコースのどちらかを選ぶのですが、私は午前のコースを選びました。平日朝9時から昼1時まで週5日間授業がありました。私が通っていたのは語学堂でしたが、一日4コマの授業は全て韓国語の授業で、1~2コマ目は文法と語彙、3コマ目はリスニングと読み、4コマ目はスピーキングとライティングの授業でした。コロナ禍ということもあり、授業はすべてオンラインで行われ、私は自宅のアパートで受講しました。トウミ制度や国際交流イベントもコロナの影響で中断された状態でした。

留学の費用(1000W=100円で換算)

海外旅行保険1年:約20万円

学費1学期:1770000W (約17万7,000円)1年間2学期:約3540000W (約35万4,000円)

教科書1学期分:92000W (約9,200円)

入学金:80000W (約8,000円)

入国後の隔離費用(2週間/食費込み):1500000W (約15万円)

家賃1か月:650000W (6万5,000円)

韓国での保険(入国から半年以降に毎月支払い義務)1か月:56030W (約5,603円)

食費1か月:約5万円

外食をすることが多かったので食費がかなりかかりました。またコロナ禍ということで隔離期間の滞在費と食費で一日1万円ずつ払わなければいけませんでした。上記に加え、携帯電話代や交際費など全て含めて一年間で200~250万円ほど使いました。

留学で困ったこと

韓国に入国してからの様々な手続きが大変でした。特に、隔離終了後すぐに外国人登録の手続きがあり、また携帯電話会社、銀行での手続きを行う際にも全て韓国語でしなければならないので心が折れそうになりました。

また、病院に行くほどではないけれど薬が欲しいということもありました。そのような時には、我慢をせずに薬局に行くことをお勧めします。韓国はいたるところに薬局があるのですが、そこで自分の症状や欲しい薬を伝えると一人ひとりに合った薬を処方してくれます。

アドバイス

コロナ禍での留学で友達を作るとはとても難しく、それが悩みでもありましたが、授業のフリートークの時間に自分から話しかけたり、アルバイトをしてみたりすることで自然と友達ができはじめ、楽しい留学生活を送ることができました。

留学中は悩みを抱えたり、体調を崩したり、トラブルに巻き込まれたりすることもあります。そんな時に助けてくれるのは現地にいる日本人の友達です。語学力の向上のために外国人とだけ仲良くするという考えもありますが、国籍関係なくみんなと仲良くすることも大切だと思います。

留学を経験したことによって語学だけでなく、精神面も成長したと思います。新たな価値観や文化、人々と触れ合うことで自分の考え方の幅も広がりました。留学を迷っている方がいれば、行くことをお勧めします。きっと今まで生きてきた世界とは違う世界を感じ、視野を広げることができると思います。